

北陸農政局長賞受賞

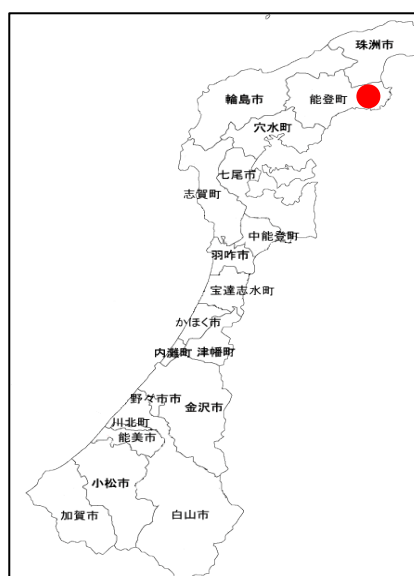
伝統行事の継承～地域の誇りと魅力を発信

の と ちょうりつあきよしこうみんかん
受賞者 **能登町 立秋吉公民館**
(石川県鳳珠郡能登町)

■ 地域の概要

「能登町立秋吉公民館」が属する秋吉地区は、石川県能登半島先端の能登町に位置し、平成23年、能登町を含む能登の4市4町に広がる「能登の里山里海」が、日本で初めて世界農業遺産に認定されている。豊かな自然と穏やかな海。土地の神に感謝し、祈りを捧げる信仰心。それらを守るべく脈々と受け継がれた伝統文化。この町には、現代人の心から失われた「日本の原風景」が人々の生活に深く息づいています。

第1図 位置図



■ 主なむらづくりの概要

当該地区の少子高齢化が著しく進展する中、伝統行事「アマメハギ」（平成30年11月ユネスコ無形文化遺産に登録）を継承するため、公民館活動に紙芝居部会を設置し、地域の小学校等でアマメハギを題材とした紙芝居を継続して実施しています。

また、増加する遊休農地の解消を図るため、秋吉遊休農地対策部会と連携し、菜の花畑となたね油を活用した商品開発や、イベント等の住民参加型の取組を推進することにより、地域への愛着を持ち、誇りと魅力を発信することに成功しており、Uターン者等の移住者拡大を図っています。



写真1 アマメハギ行事



写真2 菜の花畑での紙芝居



写真3 なたね油